未来の津市へ一歩踏み出す予算

令和６年度当初予算 一般会計予算 1,180億8,200万円

問い合わせ　財政課　229-3124　FAX229-3330

令和６年度は、合併特例事業債が発行期限を迎えようとする中、これまで進めてきた社会基盤整備が合併による効果を引き出すフェーズから未来に向けて新たに挑戦していくフェーズへと変化していくこと、市民生活がコロナ禍を乗り越え新たな段階へとシフトしていくこと、そして、少子化・人口減少対策、防災・減災対策など直面する課題に果敢にチャレンジしなければならないことを踏まえ「未来に向けたこども・子育て政策」「未来に向けた都市づくり」「未来の安心」の３つの政策を軸に物価高騰対策を盛り込んだ“未来の津市へ一歩踏み出す予算”としました。

一般会計予算は、前年度と比べて4.7％増の1,180億8,200万円となりました。また、特別会計等を含めた総額は、前年度と比べて、ほぼ横ばいの2,789億6,900万円となりました。

※文中・図表中の金額は100万円未満を四捨五入などしています。また、▲はマイナスを表しています。

会計別予算額

会計名		令和６年度	令和５年度	増減額	増減率
一般会計		1,180億8,200万円	1,127億3,000万円	53億5,200万円	4.7%
特別会計	国民健康保険事業	264億5,100万円	266億8,100万円	▲2億3,000万円	▲0.9%
	介護保険事業	305億7,900万円	300億2,400万円	5億5,500万円	1.8%
	後期高齢者医療事業	81億2,100万円	75億2,300万円	5億9,800万円	7.9%
	市営浄化槽事業	――	5億6,500万円	▲5億6,500万円	皆減
	共同汚水処理施設事業	――	2億4,700万円	▲2億4,700万円	皆減
	農業集落排水事業	――	5億9,100万円	▲5億9,100万円	皆減
	土地区画整理事業	2億8,200万円	2億5,100万円	3,100万円	12.4%
	住宅新築資金等貸付事業	1,900万円	2,300万円	▲400万円	▲17.4%
	椋本財産区	100万円	100万円	0万円	0.0%
	小　計	654億5,300万円	659億　600万円	▲4億5,300万円	▲0.7%
企業会計	水道事業（支出）	134億1,900万円	127億8,500万円	6億3,400万円	5.0%
	工業用水道事業（支出）	2,100万円	2,500万円	▲400万円	▲16.0%
	下水道事業（支出）	224億8,300万円	209億3,700万円	15億4,600万円	7.4%
	駐車場事業（支出）	2億5,100万円	2億6,000万円	▲900万円	▲3.5%
	モーターボート競走事業（支出）	592億6,000万円	663億1,600万円	▲70億5,600万円	▲10.6%
	小　計	954億3,400万円	1,003億2,300万円	▲48億8,900万円	▲4.9%
合　計		2,789億6,900万円	2,789億5,900万円	1,000万円	0.0%

※ 市営浄化槽事業、共同汚水処理施設事業、農業集落排水事業は特別会計を廃止し、企業会計となりました。

令和６年度当初予算の主要事業

※かっこ内は前年度予算額

未来に向けたこども・子育て政策

● **こども及び妊産婦医療費助成事業　11億2,681万円**（10億4,055万円）
９月から、子ども医療費助成の所得制限撤廃および中学生までの窓口無料化、ならびに妊産婦医療費助成の所得制限撤廃および窓口無料化

● **１か月児無料健康診査事業　661万円**（110万円）
生後１カ月から２カ月未満の乳児を対象とした無料健康診査

● **妊婦無料歯科健康診査事業　395万円** 新規事業
９月から、口腔衛生の保持ならびに低体重児の出産および早産のリスク低減を目的とした無料歯科健康診査実施

●印の財源には、こども基金を活用します。